

もてぎチャンピオンカップレース
参加者および関係者 各位

もてぎチャンピオンカップレース
大会事務局

1 大会 2 レース制のタイヤ運用について

2025 年 もてぎチャンピオンカップレース規則 第 16 章 参加車両規定 第 57 条 スーパーFJ レース車両規定、第 58 条 もてぎ CIVIC クラス車両規定、第 61 条もてぎ v.Granz 車両規定におけるタイヤに関する規定について、1 大会 2 レース開催時における運用を以下の通り公示する。

■ 第 57 条 スーパーFJ レース車両規定

2. タイヤに関する規定

3) 公式予選、決勝レースを通じて競技会に使用するドライタイヤセットは 1 セットのみとする。

1 大会 2 レース制の場合は、公式予選、決勝の 2 つのレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは、最大 8 本(前輪 4 本、後輪 4 本)までとする。

4) 競技中のタイヤ交換は外的要因（パンク等）により競技長の許可を得た場合以外は認められない。

交換した場合は、ペナルティを科す場合がある。

ただし、住友ゴム株式会社からの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合、1 本のみであれば罰則を科せられることなく交換出来るが、2 本以上を交換する場合は、決勝レース **（1 大会 2 レース制の場合は 2 レースとも）** は最後尾スタートとされる。

なお、当初のグリッドより 3 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。この場合のタイヤ変更の申請に対する時間的制限は、公式予選終了後 30 分以内とする。

タイヤ交換を行う場合には、交換されるタイヤのマーキングが大会技術委員により除去され、新たに使用されるタイヤにマーキングが実施される。

■ 第 58 条 もてぎ CIVIC クラス車両規定

16) タイヤに関する規定

③公式予選から決勝を通じて使用できるタイヤは 4 本までとする。

1 大会 2 レース制の場合は、公式予選、決勝の 2 つのレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは、最大 8 本(前輪 4 本、後輪 4 本)までとする。

使用するタイヤは、公式車両検査時にオフィシャル（技術委員）によってタイヤマーキングが実施される。

④路面がウェット状態であると競技長が宣言した場合、上記③においてマーキングされたタイヤ以外の使用が認められる。

⑤上記「ウェット宣言」以外の状況で、マーキングされたタイヤをやむを得ない事由で他のタイヤと交換する場合次の通りとする。

1. 公式予選中のタイヤ交換は認められない。

2. 公式予選終了後にマーキングされたタイヤを交換する場合は、公式予選終了後 30 分以内に文書により大会競技長へ申請するものとする。この場合、公式予選にて達成された決勝レース・スターティンググリッドを失うものとし、**（1 大会 2 レース制の場合は 2 レースとも）** 最後尾スタートとされる。なお、当初のグリッドより 3 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。タイヤ交換者が複数の場合、当初のグリッド順に従い、最後尾からグリッドが形成される。

⑥タイヤの裏組み(左右を逆に組みなおす)は禁止される。

■ 第 61 条 もてぎ v.Granz 車両規定

10. タイヤ

2) **1 大会 2 レース制の場合は、公式予選、決勝の 2 つのレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは、最大**

8 本までとする。使用するドライタイヤは、公式予選前の車両検査時に技術委員によってタイヤマーキングが実施される。

3) ウェットタイヤに関して制限は設けない。

4) マーキングされたタイヤをやむを得ない事由で他のタイヤと交換する場合次の通りとする。

- －1. 公式予選中のタイヤ交換は認められない。
- －2. 公式予選終了後にマーキングされたタイヤを交換する場合は横浜ゴム株式会社からの申請に基づき競技会審査委員会が認めた場合、1 本のみであれば罰則を科せられることなく交換出来るが、2 本以上を交換する場合は、決勝レース（**1大会2レース制の場合は2レースとも**）は最後尾スタートとされる。

なお、当初のグリッドより3グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。

タイヤ交換を行う場合には、交換されるタイヤのマーキングが大会技術委員により除去され、新たに使用されるタイヤにマーキングが実施される。なお、タイヤ交換に関する申請は、公式予選終了後 30 分以内に横浜ゴム株式会社の同意を得て、大会事務局に申請書を提出しなければならない

以上